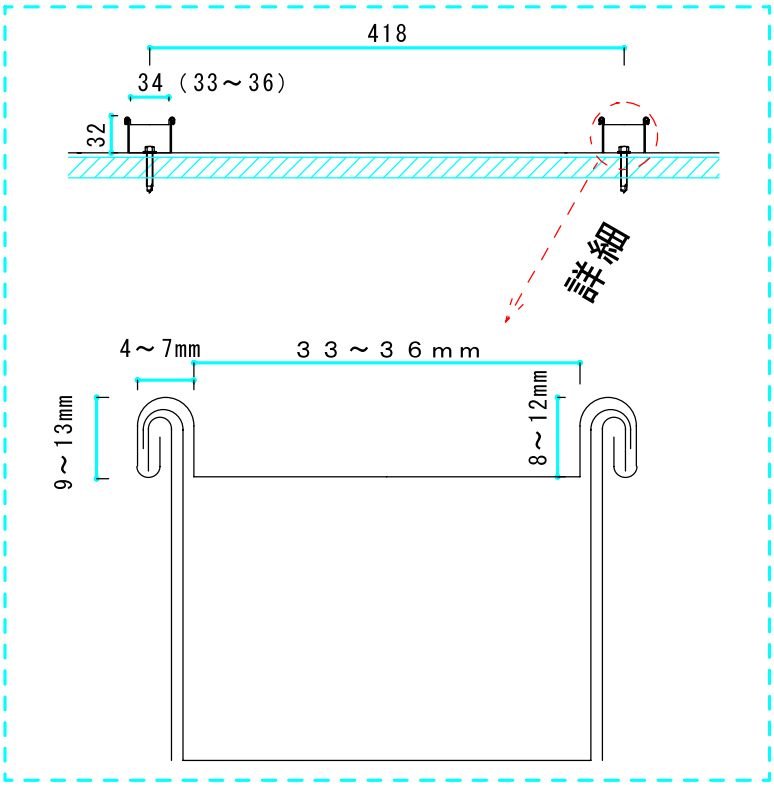
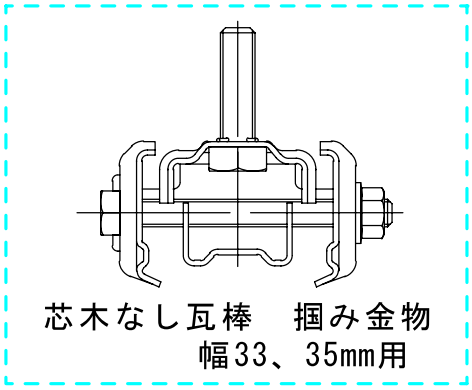
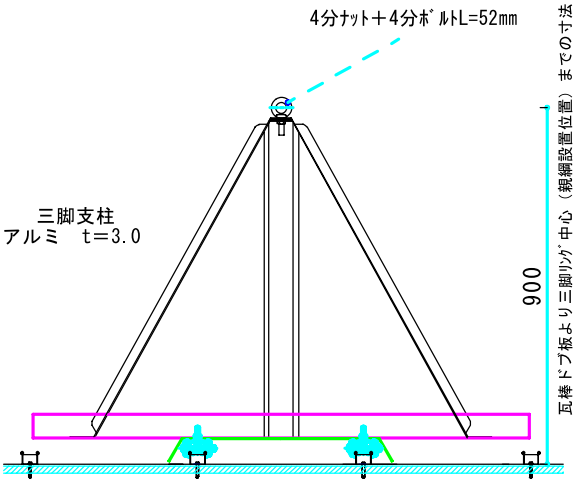
NO、１２　アルミ瓦棒　A

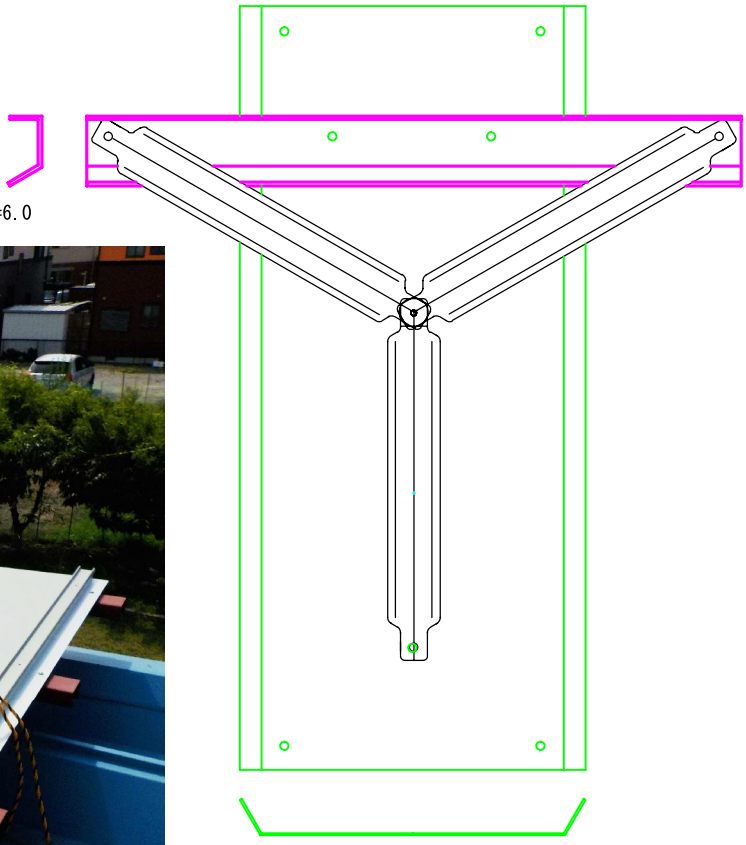


三晃式瓦棒
芯木なし



掴み金物ﾎﾞﾙﾄに固定





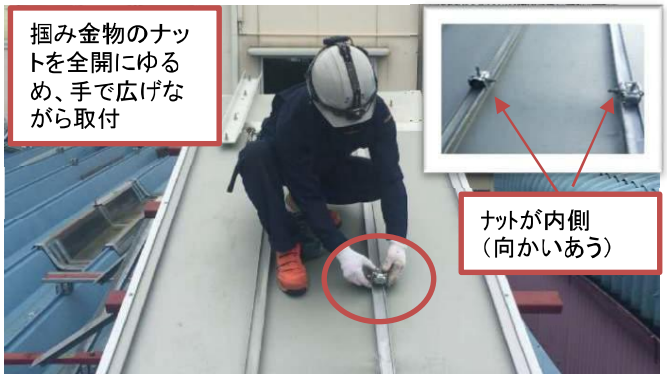
三脚支柱瓦棒用　取付手順 ①

（ハゼ式　瓦棒用）

三脚支柱瓦棒用の設置の際は、こちらのQRコードよりやり方をご確認ください。

①　取付位置墨出し

掴み金物の位置は芯、芯のｽﾊﾟﾝが1,170mmで2列となるように、掴み金物取付位置、4ヶ所をﾏｰｷﾝｸﾞ



②　掴み金物取付

掴み金物のナットが内側になるよう13mmビットにて取付。（ナットが向かい合うように）

（強く締めると屋根材が破損するので注意、締め付けトルクは21N･m）

水下側2ヶは本締めしてもよいが、水上側2ヶは仮締めとする。

③　ベース（座板）仮置き

水下側にベースの腕がくるように、掴み金物のﾎﾞﾙﾄ4箇所をベース（座板）の4隅の穴に入れる。穴が合わない場合は、水上側の掴み金物を移動し穴を合わせる。

④　ベース（座板）仮締め

掴み金物とベース（座板）をナットで4ヶ所、仮に固定する。（手で軽く締める程度で固定）

別紙②　安全使用基準に遵守

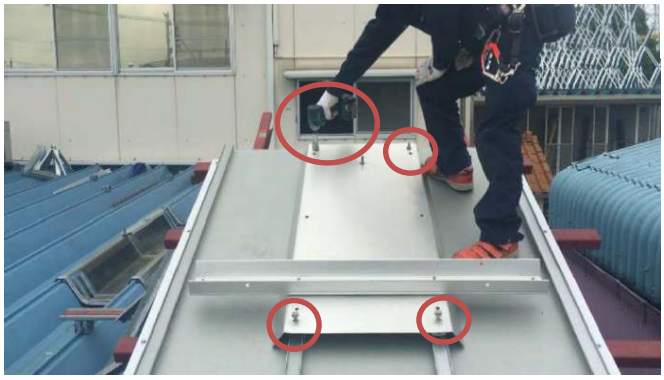
三脚支柱　取付手順　②

（ハゼ式　瓦棒用）

三脚支柱瓦棒用の撤去の際は、こちらのQRコードよりやり方をご確認ください。

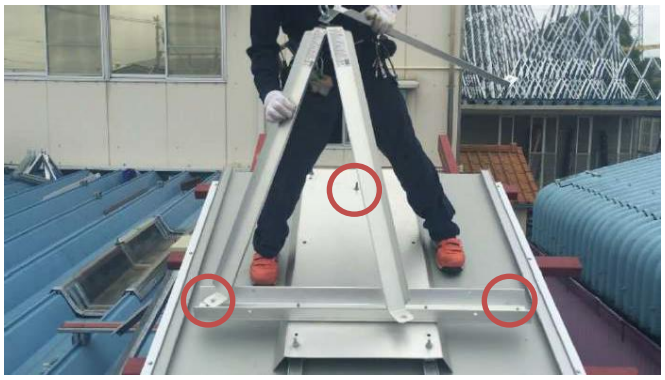
⑤　水上側掴み金物本締め

ベース（座板）の水上側を持ち上げ、隙間にインパクト（13mmビット）を入れて水上側の掴み金物を本締めする。
（強く締めると屋根材が破損するので注意、締め付けトルクは21N･mとする）



⑥　ﾍﾞｰｽ（座板）本締め

ベース（座板）と掴み金物を本締め、インパクト（17mmビット）使用　（締付けトルクは55N･mとする）



⑦　三脚支柱組立て

支柱の脚の穴を、ベース中央のボルトと腕の両端のボルトに貫通し組立てる。

⑧　三脚支柱本締め

三脚支柱の脚のナット3ヶ所とIボルトのナットをインパクトにて固定（17mm、21mmビット使用）　（締付けトルクは55N･mとする）

別紙②　安全使用基準に遵守

三脚支柱使用基準　　別紙　②

取付及び使用する前には必ず使用基準をお読み下さい

1　衝撃するおそれのある床面等より4m以上の高さが折板の上部で確保されていること

ﾌﾙﾊｰﾈｽﾀｲﾌﾟの安全帯使用時においては、4.5m以上の高さを確保すること（平成28年4月追記）

2　折板の形状は角ﾊｾﾞ500（300）、丸ﾊｾﾞ500（300）、ＢＬ500、ﾙｰﾌﾃﾞｯｷとし、それぞれ指定した掴み金物を使用すること（掴み金物の取付困難な折板及びへこみ等で変形した折板には使用禁止）

3　掴み金物と折板の隙間は専用の保護ｺﾞﾑｼｰﾄt=1.2㎜にて養生すること（１型のみ）

4　三脚支柱の間隔（1スパン）は9.5m以内とし、１スパン１人までで使用すること

5　三脚支柱の中心が折板端部（軒先、ｹﾗﾊﾞ、開口部）より離れ1.5m以上離して設置すること

6　必ず支柱用親綱はﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ製φ16（仮設工業会認定品）を使用し（ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ等は使用禁止）緊張器にて十分緊張させること

7　折板施工時、三脚支柱を設置する場合は、掴み金物を取付ける箇所より流れ方向上下 4m以上連続ﾊｾﾞ締め完了後、掴み金物を取付けること

8　墜落等で衝撃を受けた支柱及び変形をした掴み金物は使用しないこと

9　設置及び撤去作業時は保護手袋を着用すること

10　丸ﾊｾﾞ,BL500の掴み金物の取付方向は別紙③、④にて確認が必要（下記QRｺｰﾄﾞ内の別紙参照）

11　安全帯（ﾗﾝﾔｰﾄﾞ長さL=1.7m以下）、支柱用親綱は安全性の確認されたものを使用すること

12　折板屋根の勾配は10%以下とします

13　三脚支柱の上部リングに直接安全帯を使用しないこと

14　折板出隅部の三脚支柱の設置は下記QRｺｰﾄﾞ内別紙⑤の基準による

（出隅部は三脚支柱が連続して２脚必要）

15　三脚支柱、掴み金物等部材は放り投げたり衝撃を与えないこと

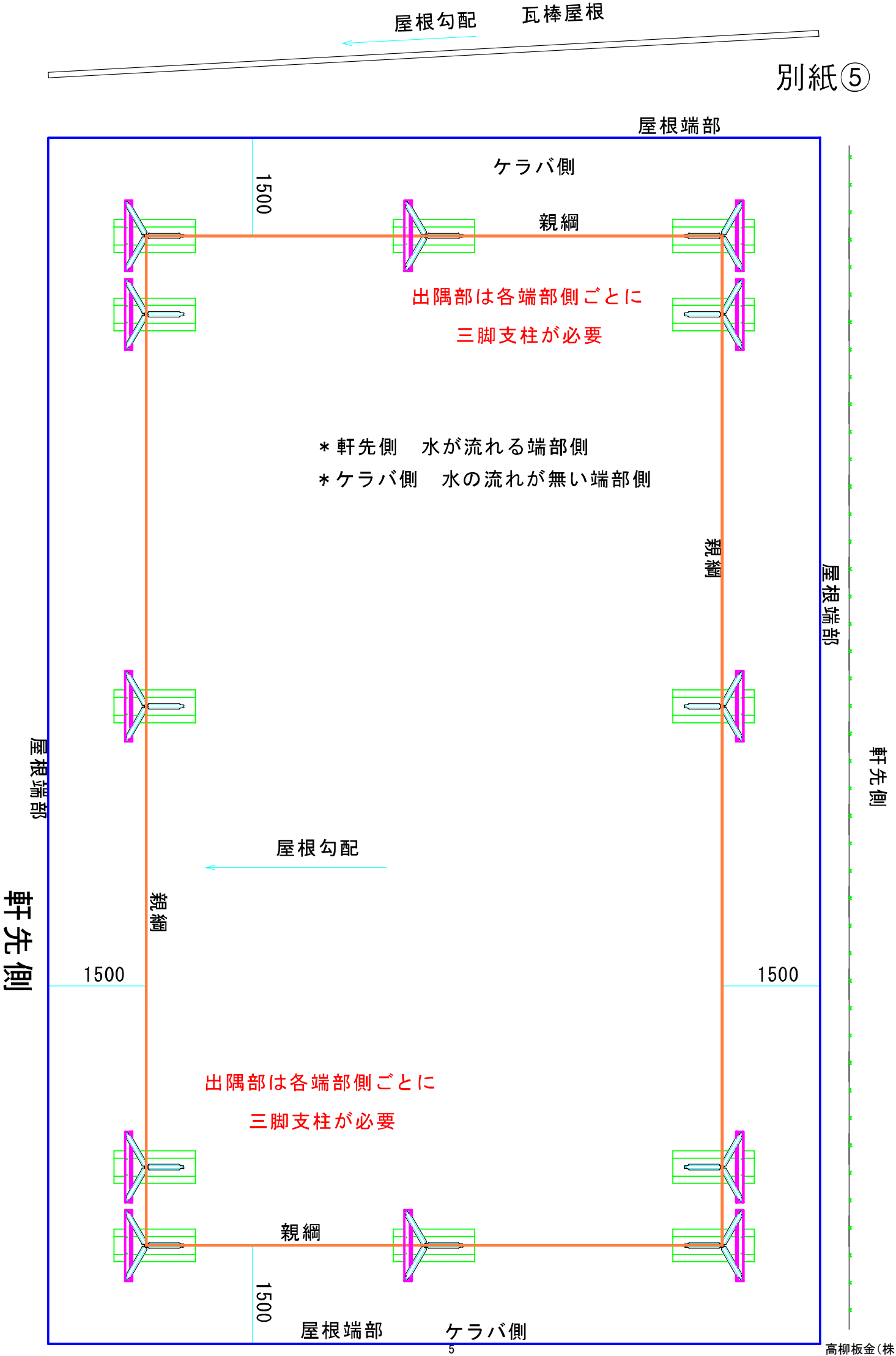
16　掴み金物を折板に固定するﾄﾙｸは5.5kN・cmとすること

17　親綱、安全帯等が落下衝撃により折板の端部等にて損傷されるおそれがある場合は事前に養生等をすること、又ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑのｽﾊﾟﾝや折板の板厚等により落下衝撃による折板の損傷具合は異る

18　下記QRｺｰﾄﾞ内の三脚支柱取扱説明の各資料を確認すること

19　三脚支柱使用時はﾌﾙﾊｰﾈｽﾀｲﾌﾟの安全帯の使用を推奨とする。

2016年4月　　製造元　高柳板金(株)


屋根勾配
瓦棒屋根
別紙⑤
屋根端部
ケラバ側
1500
親綱
出隅部は各端部側ごとに
三脚支柱が必要
＊軒先側　水が流れる端部側
＊ケラバ側　水の流れが無い端部側
親綱
屋根端部
軒先側
屋根端部
屋根勾配
軒先側
親綱
1500
1500
出隅部は各端部側ごとに
三脚支柱が必要
親綱
1500
屋根端部
ケラバ側

高柳板金(株)

掴み金物は55N・mにてナットを締めて下さい

トルクレンチにて締付けトルクを管理して下さい（L=25cmのシノで約22kgでしめる力）

Iボルトを緩める
時は、２１mmの
ソケットをご使用
下さい。

三脚支柱を画像のよう
に無理やり変形させな
いで下さい。
欠品対象となります。